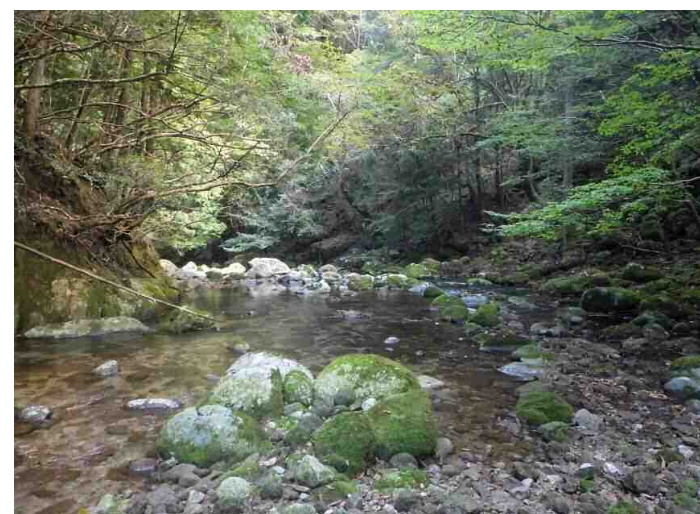


大越モミ・ツガ・アラカシ等遺伝資源希少個体群保護林

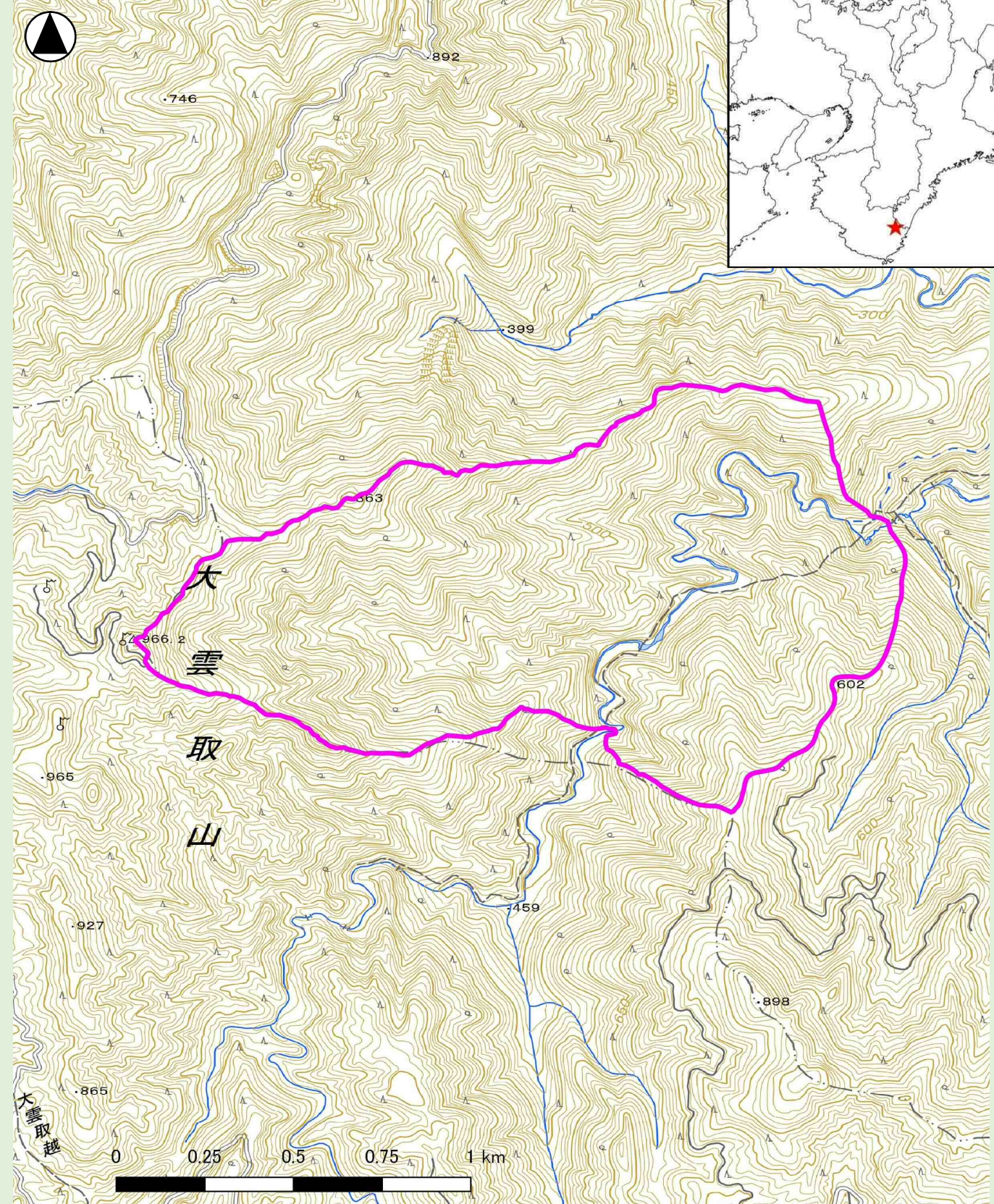
管轄森林管理局・署	近畿中国森林管理局・和歌山森林管理署
所在地・面積	和歌山県新宮市 ・ 193.03ha
設定年	昭和63年4月1日設定、平成21年4月1日拡充、平成26年4月1日拡充、平成30年4月1日再編に伴う名称変更及び管理方針書設定
保護林の概要	<p>当該区域は、大雲取山の東側に位置し、本州南部に普通に見られる暖帯林すなわち常緑広葉樹林帯に属し、アカガシやツブラジイ、モミ、ツガ等の大径木が生育する照葉樹林である。</p> <p>森林植生は、アカガシ、ツブラジイ、ウラジロガシ等の常緑カシ類を主要高木とし、モミやツガ等の針葉樹が混生しているアカガシ群落の成熟林が広く分布しており、標高960m～260mと差があることから、コカンスゲ-ツガ群集～シキミ-モミ群集へと植生の垂直変化が見られる。</p> <p>保護対象種はモミ、ツガ、アカシデ、アカガシの成木の他、小径木や実生、稚樹、幼木等の後継木の生育も確認されている。</p> <p>希少種であるトガサワラの生育地としても貴重である。</p>



モニタリング調査の概要

実施年度	令和4年度
調査項目	森林タイプの分布等調査、樹木の生育状況調査、下層植生の生育状況調査、山火事等災害発生状況調査、病虫獣害・気象害発生状況調査、保護対象種生育状況調査、利活用実態調査、管理体制実態調査
結果概要	<p>保護対象種であるモミ、ツガ、アカシデ、アカガシは良好に生育していると判断されたが、アラカシの生育は確認されなかった。</p> <p>今回調査したアカガシ群落の森林は、現状において原生的な天然林が維持されているが、ニホンジカの食害により下層植生が貧弱になっており、低木層以下で不嗜好性植物が高い頻度で出現している状況が確認され、群落の維持・更新への影響が懸念される。</p> <p>これらのことから、当該保護林はニホンジカによる森林被害が顕在化している地域と判断される。</p>

大越モミ・ツガ・アラカシ等遺伝資源希少個体群保護林 位置図



保護林内での注意事項

- ★貴重な植物群落の保護にご協力ください。
 - ★植生の荒廃防止のため、歩道を外れて歩かないでください。
 - ★許可なく動植物の捕獲及び採取をしないでください。
- ※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。